

# 自殺防止のキーパーソン “ゲートキーパー” 養成事業

## 1 ゲートキーパーとは

**【ゲートキーパーとは】**  
 医療・福祉、教育、経済・労働、地域など様々な分野において、周囲の人の顔色や態度から自殺のサインに気づき、見守りを行ったり、専門相談機関などへつないだりする人材

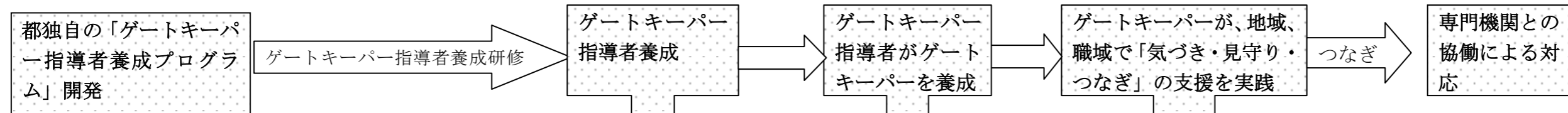
**【ゲートキーパーとなりうる者】**  
 官民を問わず、住民に対する相談・調整を業務の一部とする者等。具体的には、保健師、医師、社会福祉施設職員、福祉事務所職員、ケアマネージャー、消費者相談員、職場の管理監督者、教師、民生児童委員、警察官、消防職員など

**【具体的役割】**  
 「うつ・自殺」の基礎的知識を有し、通常の相談業務等を通じ、カウンセリングマインドを持って相手の心身不調のサインに気づき、必要に応じ、専門機関等へつなぎ協働して取り組む

**【ゲートキーパーと同様の役割を担う人材】**

- うつ診療充実強化研修を受講した産業医・かかりつけ医
- 「児童・生徒の自殺予防にかかわる指導資料」等による児童・生徒の自殺予防にかかる研修等を受講した教職員
- 「自殺防止！東京キャンペーン」などを通じ、都民一人ひとりの自殺予防にかかる意識醸成・普及啓発を図る

## 2 ゲートキーパー養成事業のしくみ



**ゲートキーパー指導者養成プログラム**

- ・ うつ・自殺についての理解
- ・ 相談・支援活動に必要なスキル
- ・ 相談支援活動における連携方策
- ・ ゲートキーパー養成の方法等

**【添付資料】**

- ・ 相談機関リスト
- ・ うつチェックシート
- ・ ゲートキーパー手帳
- ・ ゲートキーパー養成研修用引き

